

近年の災害における NPOによる被災者支援

被災地NGO協働センター

頼政良太

自己紹介

- 2007年から災害ボランティア活動を始め
- 2011年4月より被災地NGO協働センター専従スタッフ
- 2015年4月～2020年9月 神戸女子大学非常勤講師
- 2015年5月～被災地NGO協働センター代表
- 2018年4月～兵庫県立大学減災復興政策研究科修士課程入学
- 2018年9月 兵庫県「若人の賞」受賞
- 2023年3月 兵庫県立大学減災復興政策研究科博士後期過程修了
- 2023年4月 関西学院大学人間福祉学部社会起業学科 助教



◆主な活動場所

能登半島地震(2007)/中越沖地震(2007)/岩手・宮城内陸地震 (2008)/石川県金沢水害(2008)/愛知県岡崎水害(2008)/山口県防府市水害(2009)/兵庫県佐用町水害(2009) /山口県山陽小野田市水害(2010)/宮崎県新燃岳噴火(2011)/東日本大震災(2011)/九州北部豪雨水害(竹田市・2012)/山口・島根豪雨(2013)/福知山市水害(2013)/フィリピン台風30号 (2013) /徳島県海陽町水害(2014)/兵庫県丹波市水害(2014)/広島市土砂災害(2014)/東北・関東豪雨水害 (2015) /熊本地震 (2016) /九州北部豪雨災害 (日田市・2017) /大阪北部地震 (大阪府・2018) /平成30年7月豪雨災害 (広島、兵庫・2018) /令和元年8月秋雨前線豪雨 (佐賀・2019) /台風19号豪雨災害 (長野、栃木など・2019) /令和2年7月豪雨 (大分、熊本・2020) /令和3年8月大雨災害 (佐賀・2021)/令和4年8月大雨災害 (石川・2022) /令和4年台風15号災害 (静岡・2022) /奥能登地震 (2023)



被災地 NGO 協働センター

The NGO Collaboration Center for
HANSHIN QUAKE Rehabilitation

被災地NGO協働センターとは？

阪神・淡路大震災発生後の1995年1月19日に結成された、阪神大震災地元NGO救援連絡会議（代表・草地賢一）の分科会の一つとして、同年8月1日「仮設支援連絡会」として発足。翌1996年4月1日、「阪神・淡路大震災『仮設』支援連絡会」に改組し、分科会より独立。1998年4月1日より「被災地NGO協働センター」と改称し、現在に至る。

阪神・淡路大震災をきっかけに発足したNGO

- まけないぞう事業（400円で販売、うち100円が作り手さんの収入）
- 災害救援事業
- KOBE足湯隊事務局（足湯ボランティア）
- ネットワーク・提言事業
- 広報事業



被災地 NGO 協働センター

The NGO Collaboration Center for
HANSHIN QUAKE Rehabilitation

子ども／認知症高齢者／障害者／外国人
子育て世帯／引きこもり／生活困窮者・・・

健常者
一部の高齢者

対象者

避難生活

片付け

家の泥だし
家財搬出

情報

ボランティア情報

制度／法律／他の被災地の事例
仮設住宅の案内／税金の免除
炊き出し等の案内

畑の片付け／農地の片付け

床板や壁剥がし

屋根のブルーシート張り

重機の活用

赤紙や黄紙の家

避難所の運営／健康管理

炊き出しの調整

日中活動（足湯やお茶会）

環境改善（段差解消や寝床の整備）

避難所外の避難者（在宅／親戚宅など）



ダンプ等を活用した災害ゴミ搬出



重機を活用した土砂だし等



水害後の家屋の処理（床はがし／壁はがし）



床下の土砂撤去



地震後の瓦撤去、ブルーシートはり



物資配布



在宅被災者へのお弁当配布



被災者の個別訪問／個別ニーズ調査



士業組合と連携した相談会の実施



被災者の交流サロンの実施



子どもの遊び場



足湯ボランティア / 傾聴



汚れた写真の洗浄



炊き出し



農業ボランティア

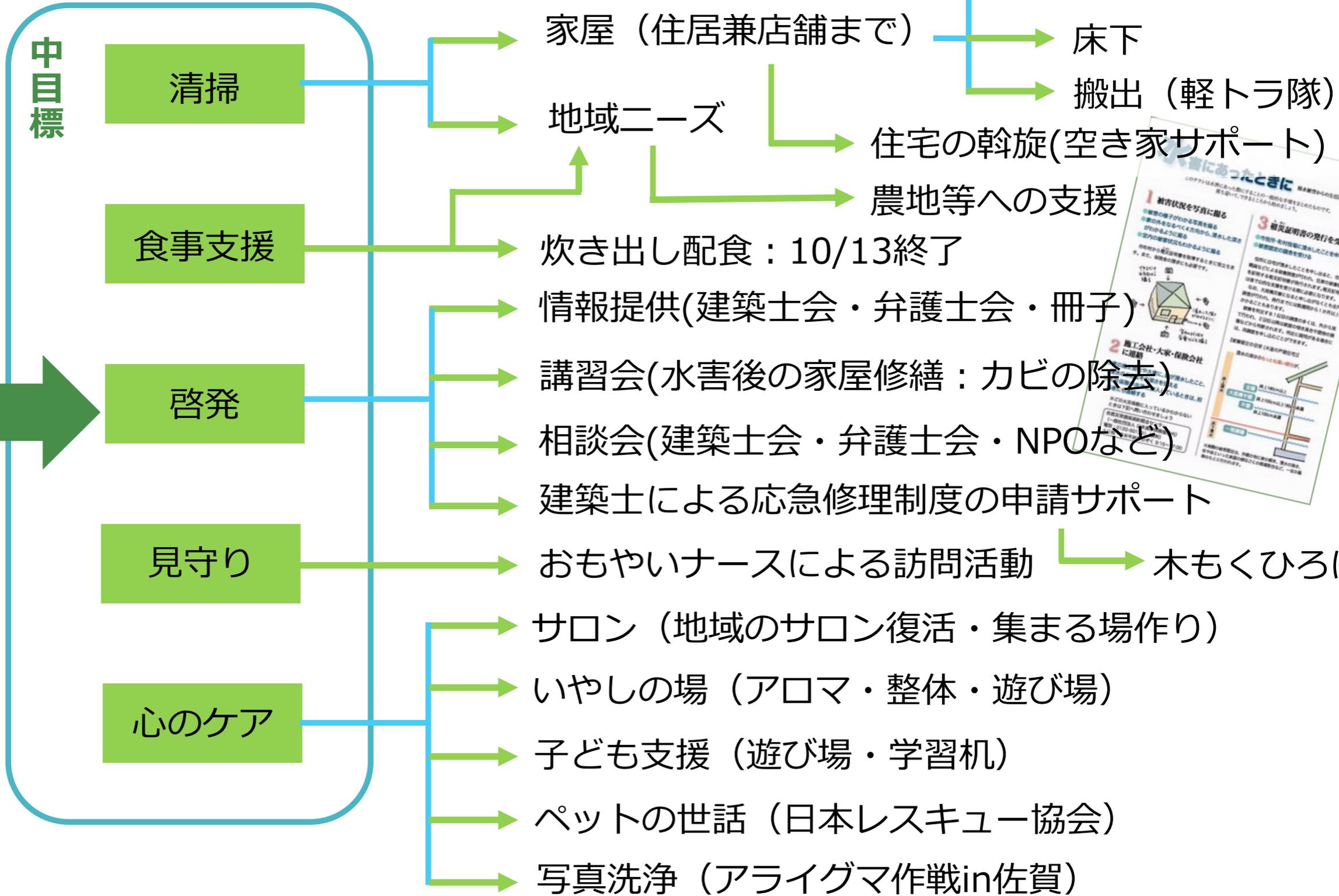


外国人向けの情報提供

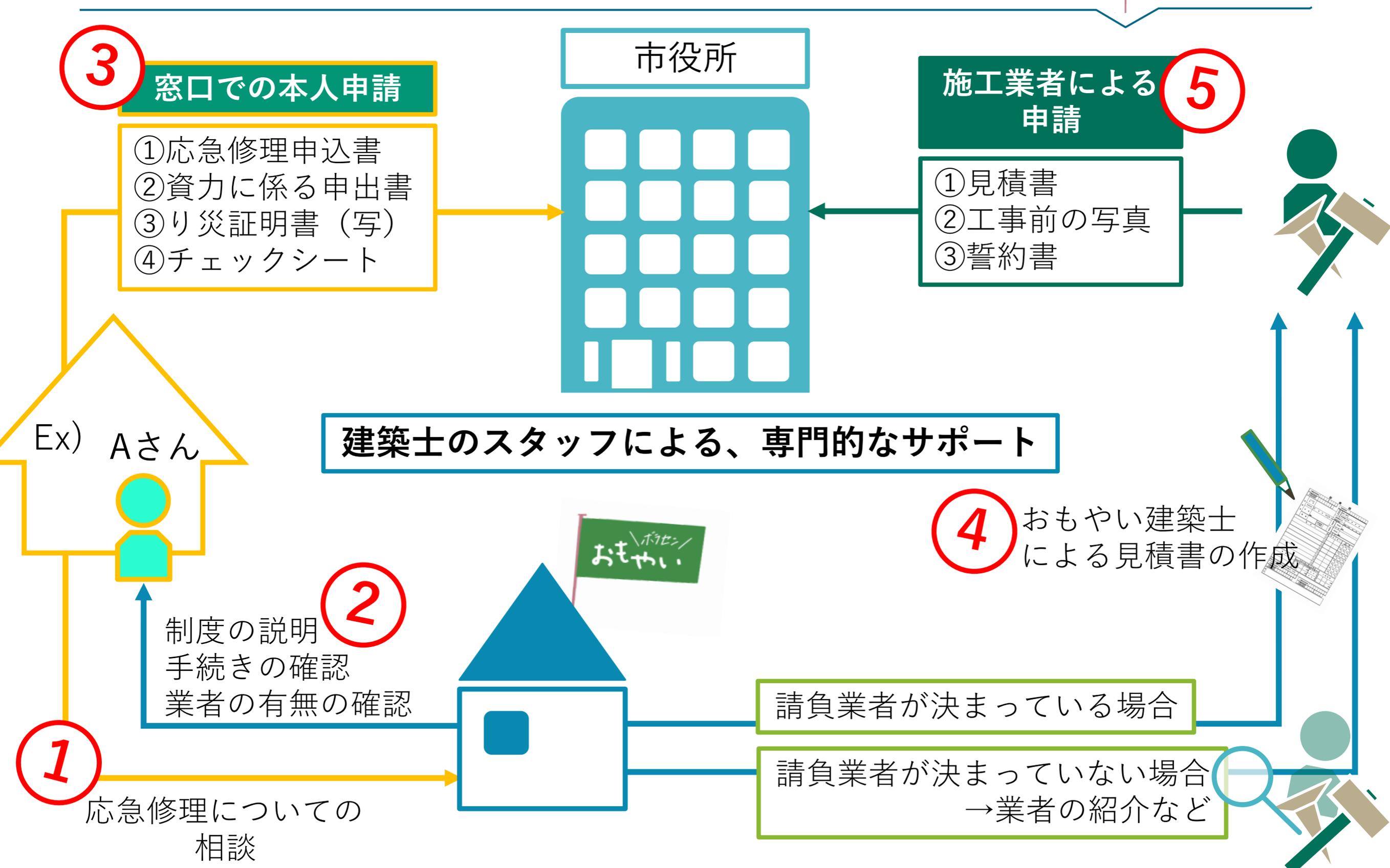
おもやいボランティアセンターの目標と活動



大目標!! くらしの再建・地域の復興



応急修理制度申請サポートの流れ（おもやい対応）



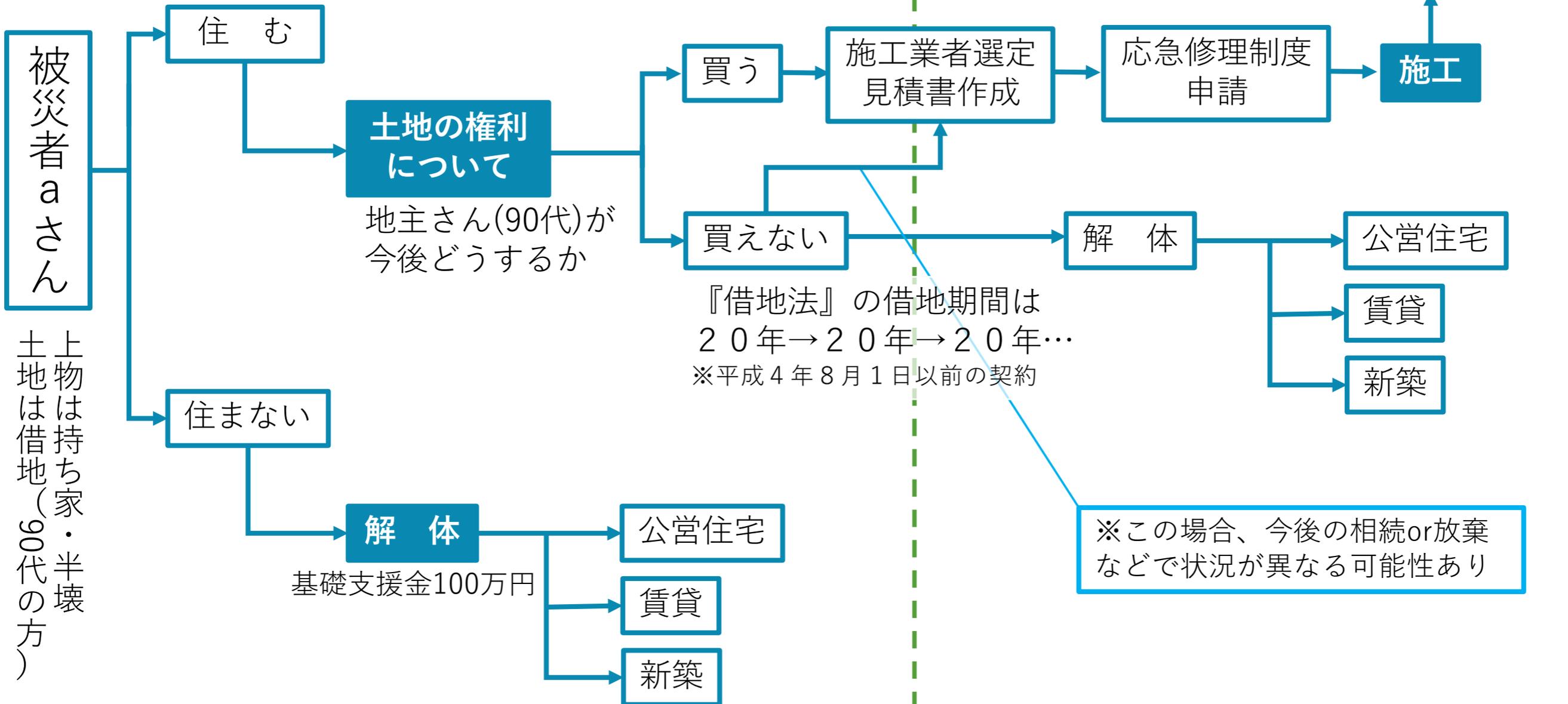
相談事例（弁護士さんとの相談）



一時入居延長申請期限：10月26日

ケアマネとの連携

介護保険による
手すり設置など



一口に住宅再建と言えども、個別に課題を抱える状況にあります。

2019年
10月17日の相談より